

読売新聞 きょう（1月28日）のイチ押し

1面、社会面 闇バイト強盗 指示役か4人収容施設に フィリピン

各地で被害が相次いでいる強盗事件で、指示役と同じ「ルフィ」を名乗る人物を含む男4人がフィリピンの入国管理局の収容施設に拘束されていることがわかりました。4人は別の特殊詐欺に関与したとしてすでに警視庁が逮捕状を取っており、フィリピン側に引き渡しを要請しています。

- ★ 捜査関係者によると、この4人のうち渡辺優樹容疑者は過去に「ルフィ」と名乗っていたことが確認されており、今回の「ルフィ」の可能性が有ります。フィリピンでは2019年、現地の拠点から日本に特殊詐欺の電話をかけていた日本人36人が摘発されており、警視庁は渡辺容疑者らが指示役だったとみて逮捕状を取っていました。
- ★ 特殊詐欺事件の裁判記録では、最上位にいた渡辺容疑者は「ボス」と呼ばれ、配下の幹部らが末端メンバーに暴力をふるうなどして支配していました。一連の強盗事件でも、逮捕されたメンバーの中には「話せばルフィに粛清される」と供述を拒む者もいるといっています。

1面、3面など コロナ「5類」決定 マスクは「個人判断」

政府は新型コロナの感染症法上の分類を、5月8日に現在の「2類相当」から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることを決定しました。マスクの着用は「個人の判断に委ねる」ことを基本として、着用が効果的な場面を国民に周知する考えです。

- ★ 5類に移行すると、原則として医療費の公費負担がなくなり、一般医療機関も対応することになります。混乱を避けるため、公費負担の縮小と対応医療機関の拡大を段階的に進める方針です。
- ★ これと合わせ、政府は27日、大規模イベントの人数制限を廃止しました。スポーツやコンサート、舞台などで観客が大きな声援を送る場合でも、座席の収容率を減らす必要はなくなりました。

他紙と比べて

関西経済面は今回、アウトドアブランド「モンベル」創業者の辰野勇会長にインタビューしました。コロナ禍で注目が集まったのが、「3密」を避けて楽しめるアウトドア。モンベルは自然環境を生かした「エコツーリズム」で地方を活性化することをミッションの一つに掲げています。地方でカヌーや自転車を楽しむ訪日観光客を呼び込む発信も強化していくそうです。